

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大	事業	001	図書館管理運営事業	中	事業	01	図書館管理運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		図書館
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

- 報酬（図書館協議会委員） 90 千円
- 賃金（臨時職員19名） 44,547 千円
- 報償費（講師謝礼、協力者謝礼） 734 千円
- 需用費 18,433 千円
- 役務費 1,145 千円
- 委託料 8,545 千円
- 使用料及び賃借料 8,355 千円
- 工事請負費（LAN配線工事費） 497 千円
- 備品購入費 25,148 千円
- 負担金（県図書館協会費、日本図書館協会費） 39 千円
- 公課費（自動車重量税） 26 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	63,012	50,246	67,276	12,766
	人件費	132,415	166,705	157,551	△ 34,290
	総事業費	195,427	216,951	224,827	△ 21,524
人員	正職員	14.40 人	17.68 人	16.75 人	△ 3.28 人
	臨時職員	18.75 人	18.75 人	18.75 人	0.00 人
	人員計	33.15 人	36.43 人	35.50 人	△ 3.28 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	389	361	352	28
	一般財源	195,038	216,590	224,475	△ 21,552

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市民一人あたりの貸出冊数	冊	目標	9	9	9	9	9
			実績			8.6	9	9
			達成率(%)	0.0	0.0	95.6	100.0	100.0
指標の説明								
指標	図書資料費	千円	目標	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
			実績			24,000	23,600	23,600
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	98.3	98.3
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	1月、2月の大雪の影響を受け、貸出冊数、来館者ともに多少減少した。限られた予算の中で、4館のネットワークを利用して、無駄のない効率的な図書資料の収集・保存を行った。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	市民すべてが身近に利用できる地域の情報拠点としての図書館の運営は費用がかかるが、広域的な市民サービスを考慮すると、4館の必要性は非常に高い。引き続き4館存続の方針のもと、今後も市民の多様なニーズに応えつつ、経費の抑制に努め、合理的な予算の執行に努める必要がある。
これまでの見直しや改善等の実績	図書館本来の魅力を高めるため、図書資料の充実を図った。4館ともに行事やおはなし会の内容の充実や、来館者への接遇向上を図った。図書館職員としての資質向上のため、研修にもできるだけ参加した。老朽化が進む施設については、恒常的に修繕と整備を図り、利用者が快適に施設を利用できるようにした。	

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続		中長期的な方向性		継続	
目標年度		目標年度		目標年度		目標年度	
方向性の説明	現状を維持しながら、より市民に親しまれる図書館を目指し、資料費の充実や事業の見直しを行う。市民の身近な生涯学習の拠点として、また憩いの場として満足してもらえるよう努力する。老朽化の進んだ三国、丸岡、春江図書館3館は、補修や修繕を行いながら、施設の延命化を図るとともに、全館とも高齢者、障がい者にやさしい施設・運営となるように、施設の改修やサービス向上に向け計画的に取り組む。						

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	基本施策	施策	
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業			中事業	01	記念文庫等管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		図書館
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,439	1,303	1,106	136
	人件費	4,551	10,374	9,399	△ 5,823
	総事業費	5,990	11,677	10,505	△ 5,687
人員	正職員	0.60 人	1.45 人	1.25 人	-0.85 人
	臨時職員	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.00 人
	人員計	0.85 人	1.70 人	1.50 人	-0.85 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,990	11,677	10,505	△ 5,687

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。	
【事業の概要】	
○報償費（講師謝礼）	73 千円
○需用費	247 千円
消耗品費	224 千円
光熱水費他	23 千円
○役務費（トイレ汲み取り料）	3 千円
○委託料（生家跡樹木剪定業務等委託料）	940 千円
樹木剪定業務等委託料	248 千円
制作業務委託料	599 千円
清掃委託料他	93 千円
○使用料及び賃借料	171 千円
仮設トイレ借上げ料	13 千円
防犯カメラリース料	158 千円
○負担金(中野重治の会負担金)	5 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	中野重治記念文庫見学者数	人	目標	650	650	600	550	400
			実績			637	558	543
		達成率(%)	0.0	0.0	106.2	101.5	135.8	
指標の説明								
指標	小葉田淳記念文庫見学者数	人	目標	400	400	300	300	400
			実績			407	295	289
		達成率(%)	0.0	0.0	135.7	98.3	72.3	
指標の説明								
指標	講演会参加人数	人	目標	300	300	300	300	250
			実績			279	289	289
		達成率(%)	0.0	0.0	93.0	96.3	115.6	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	中野重治記念文庫、今川節の部屋の一般開放の効果や、小学生の見学会を中心に各文庫の見学者は増加している。講演会の参加者も、講演者や内容の見直しの成果もあり、ほぼ目標値に達している。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 毎年、記念文庫関連の講演会や、行事を開催し、郷土の偉人の周知・顕彰に努めている。 また、未整理だった記念文庫関係の資料の整理を進めている。
これまでの見直しや改善等の実績	経年劣化が進む資料保存のため、適宜保存用ブックカバーをつけている。 未整理だった資料の保存管理が進んでいる。

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	郷土の偉大な作家、中野重治および歴史学者、小葉田淳の蔵書や書簡等、また作曲家、今川節の楽譜を適正に保存し、偉業を次世代に永く伝えていくため当事業を継続する。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				